

高リスク前立腺癌に対して治療を受けた皆様へ

QST病院と千葉大学医学部附属病院では共同で、高リスク前立腺癌に対し治療を受けた方の経過や副作用を明らかにし、治療法による違いを比較検討するため過去の症例を解析することになりました。この研究は、診療録（カルテ）から得られた記録をまとめることによって行います。この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[研究課題名] 高リスク前立腺癌に対する強度変調放射線治療・手術・重粒子線治療の多機関後向き観察研究

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

[協力/共同研究機関] 千葉大学医学部附属病院

[QST病院における研究責任者および研究代表者] 石川 仁

[千葉大学医学部附属病院における研究責任者] 坂本 信一

[研究期間] 許可日～2025年3月31日

[研究の目的] 高リスク前立腺癌に対し、QST病院において重粒子線治療を受けた患者さん、千葉大学医学部附属病院において強度変調放射線療法または手術を受けた患者さんの治療成績と有害反応を明らかにし、治療方法の特徴や傾向を分析し治療方法選択の基準を検討いたします。

[研究の方法]

●対象となる方々

2000年4月～2020年4月の間にQST病院または千葉大学医学部附属病院で高リスク前立腺癌に対して、強度変調放射線治療・手術・重粒子線治療のいずれかの治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

2021年7月1日までに得られた治療内容、カルテに記録されている治療前後の経過を利用します。

新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い] **お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。**

利用する情報からは、お名前、ご住所など個人を直接同定できる情報は削除します。研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、個人名などが表に出ることはありません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2021年12月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。解析は翌年1月1日から開始します。2022年1月1日以降のお申し出であっても、可能な限りデータを解析から取り除きますが、既に集計し解析に用いら

れ個人を識別できない状態の情報は取り除けない場合があります。患者さんの個人情報が公表されることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

石川 仁 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院 泌尿器科 講師

坂本 信一 電話：043-222-7171（平日9:00～17:00）

